

平成30年度(2018年度)  
京都市立芸術大学大学院音楽研究科入学試験問題  
語学(英語)

I. つぎの文章を読んで設問に答えなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

(Bando, Mariko. *The Dignity of a Woman*, translated by James M. Vardaman. Tokyo: IBC publishing, 2008.)

- 1) 下線部①を日本語に訳しなさい。
- 2) 空所 A を埋めるのもっとも適切と思われる語を次から選び、その記号を書きなさい。  
a. of      b. from      c. out      d. for
- 3) 空所 B を埋めるのもっとも適切と思われる語を次から選び、その記号を書きなさい。  
a. tells      b. shows      c. means      d. holds
- 4) 下線部②はどのような意味か。日本語にしなさい。
- 5) 空所 C を埋めるのもっとも適切と思われる語を次から選び、その記号を書きなさい。  
a. truth      b. secret      c. lid      d. flower

II. つぎの文章をすべて日本語に訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

(Ashton, Anthony. *Harmonograph*. New York: Walker & Company, 2003.)

III. つぎの文を英語に訳しなさい。

- 1) 静まりかえった観客席で古典的な名曲に一心に聴き入る聴衆たち、そんなクラシック音楽の演奏会のイメージができ上がったのはそんなに古いことではない。
- 2) およそ 200 年前、ハワイの住民たちはカタツムリが歌うと信じていた。彼らは先祖代々、ハワイの森や林のなかに途絶えることなく沸き上がる不思議な音を、小心者のカタツムリたちのささやき声だと考えていた。

平成 30 年度(2018 年度)  
京都市立芸術大学大学院音楽研究科入学試験  
語学(ドイツ語)

I. 現代音楽を専門とするドイツの演奏団体アンサンブル・モデルン(Ensemble Modern)の紹介文を読み、設問に答えなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

出典: Ensemble Modern ホームページ<<https://www.ensemble-modern.com/de/ueber-uns/ensemble>>より一部改変

問 1 ( A ) から ( G ) にあてはまる語を選びなさい。

- A: (ア) aus (イ) vor (ウ) zu (エ) an
- B: (ア) von (イ) mit (ウ) für (エ) aus
- C: (ア) den (イ) die (ウ) dem (エ) das
- D: (ア) die (イ) der (ウ) des (エ) dem
- E: (ア) mit (イ) durch (ウ) von (エ) bei
- F: (ア) Neben (イ) Hinter (ウ) An (エ) Über
- G: (ア) von (イ) wie (ウ) als (エ) mit

問 2 下線部①の Happy New Ears とは何か。本文に従って説明しなさい。

問3 文章の内容に沿っているものを、以下から3つ選びなさい。

- (ア) アンサンブル・モデルン(以下、EM)は、設立当初、現在ほど演奏水準は高くなかった。
- (イ) EMは、国際色豊かな20人のソリストによって構成されている。
- (ウ) EMは特定のリーダーを置いておらず、運営の重要事項は全て合議制で決定する。
- (エ) EMのユニークな運営形態は、多くのメディアで取り上げられて称賛を浴びた。
- (オ) EMの演奏会では、常に現代の室内楽作品のみに限定したプログラムが組まれる。
- (カ) EMのCDはこれまで多くの賞を受けており、グラミー賞にも一度だけノミネートされたことがある。
- (キ) EMの録音の一部は、「Ensemble Modern Medien」という独自のレーベルで発売されている。

II. 以下の文章を和訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

出典:Klexikon, Art.: Gesang <<https://klexikon.zum.de/wiki/Gesang>>より一部改変

III. あなたと音楽との関わりについて、ドイツ語で簡潔に書きなさい。

平成30年度（2018年度）  
京都市立芸術大学大学院音楽研究科入学試験問題  
語学（伊語）

I. 次の文を日本語に訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

(Pirandello, Luigi. 1994. *Uno, nessuno e centomila*. Einaudi)

II. 次の文を日本語に訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

(Godoli, Gianni. 2002. "Note introduttive al libretto" in *l'Olimpiade*. Teatro comunale di Modena.)

III. 次の文をイタリア語に訳しなさい。

1. 私たちは、窓から海が見える部屋を予約しました。
2. 彼は、自分の父親に向かって、あんなことを言うべきではなかった。
3. 君が昨晚のパーティで知り合った女の子を、僕にも紹介してくれ。
4. エレナは遅れるそうだ。駅で事故があったらしい。

平成三十年度（二〇一八年度）

京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程入学試験問題

語学 日本語（古典）

次の文章は『平家物語』巻九「忠度の最期の事」の全文です。全文をよく読み、設問に答えてください。なお、設問の都合上、助動詞「けり」（およびその活用形）がくる箇所が、空欄となっています。

薩摩守忠度は、西の手の大將軍にておはし①が、その日の装束には、紺地の錦の直垂に、黒絲織の鎧着て、黒き馬の太うたくまじきに、沃懸地の鞍置いて乗り給ひたり②が、その勢百騎ばかりが中にうち囲まれて、いと騒がず、控へ控へ落ち給ふ所に、ここに、武蔵国の住人岡部六弥太忠純、よき敵と目をかけ、鞭鎧を合せて追かけ奉り、あれはいかに、よき大將軍とこそ見参らせて候へ。まさなるも敵に後を見せ給ふものかな。返させ給へと言をかけ③ば、これは御方ぞとて、ふり仰き給ふ内甲を見入れたれば、鐵漿黒なり。あつばれ、御方に鐵漿附けたる者はなきものを。いかさまにもこれは平家の公達にてこそおはすらめとて、おし並べてむずと組む。これを見て百騎ばかりの兵ども、皆国々の駆武者なり④ば、一騎も落ち合はず、われ先にとぞ落ち行き⑤。薩摩守は聞ゆる熊野育の大力、究竟の早業にておはし⑥ば、六弥太を掴うで、憎い奴が、御方ぞと云はば云はせよかしとて、六弥太を取つて引き寄せ、馬の上にて二刀、落ちつく所で一刀、三刀までこそ突かれ⑦。二刀は鎧の上なれば通らず、一刀は内甲へ突き入れられたり⑧ども、薄手なれば死なざり⑨を、取つて押へて首を搔かんとし給ふ所に、六弥太が童、おくればせに馳せ来て、急ぎ馬より飛んで下り、打刀を抜いて、薩摩守の右の肘を、臂のもとよりふつとうち落す。薩摩守、今はかうとや思はれけん、しばし退け、最期の十念唱へんとて、六弥太を掴うで、弓長ばか

りぞ投げ退けらる。その後西に向ひ、光明遍照十方世界、念仏衆生撰取不捨と宣ひもはてねば、六弥太後より寄り、薩摩守の首を取る。よい首討ち奉りたりとは思へども、名をば誰とも知らざり<sup>⑩</sup>が、箆えびらに結びつけられたる文を取つて見れば、旅宿の花を云ふ題にて、歌をぞ一首詠まれたる。

行きくれて木の下蔭を宿とせば花やこよひの主ならまし 忠度

と、書かれたり<sup>⑪</sup>故にこそ、薩摩守とは知りて<sup>⑫</sup>。やがて、首をば太刀の先に貫き、高くさし上げ、大音声を上げて、この日来日本国に鬼神と聞えさせ給ひたる薩摩守殿をば、武蔵国の住人、岡部六弥太忠純が討ち奉つたるぞやと、名のりたりければ、敵も御方もこれを聞いて、あないとほし、武芸にも歌道にもすぐれて、よき大將軍にておはしつる人をとて、皆鎧よろいの袖をぞ濡し<sup>⑬</sup>。

語注 ○薩摩守忠度〓平清盛の弟 ○まさなし〓見苦しい ○鐵漿黒〓お齒黒

○驅武者〓諸国から集めた傭兵 ○内甲〓兜の内側、顔面

問一、すべての空欄<sup>①</sup>～<sup>⑬</sup>には、助動詞「けり」の活用形がはいります。それぞれについて「けら（未然形）」「けり（終止形）」「ける（連体形）」「けれ（已然形）」のうち、もつとも適切なものを選んで解答欄に記してください。また、その活用形が選ばれている理由を説明してください（解答記入例 「けり（終止形）」ひとつの文の末尾の位置にあり、かつ係り結び等の影響を受けていないから）。

- ①  
②  
③  
④  
⑤

- ⑥  
⑦  
⑧  
⑨  
⑩  
⑪  
⑫  
⑬

問二、右の文章の中には、登場している人物が（実際にあるいは心中に）発した言葉と見なしうる部分、つまり現代文であれば「」で囲むのが適切な部分が、複数箇所あります。薩摩守忠度が発した言葉および岡部六弥太忠純が発した言葉と認められる部分を、それぞれ三カ所ずつ抜き出しなさい（出現の順序は問いません）。また、すべてを現代語に訳してください。

・ 薩摩守忠度の言葉

一つ目＝

その現代語訳＝

二つ目＝

その現代語訳＝

三つ目＝

その現代語訳＝



・岡部六弥太忠純の言葉

一〇目＝

その現代語訳＝

一一目＝

その現代語訳＝

一二目＝

その現代語訳＝

問三、本文中の傍線を付した語について、それぞれが、尊敬語か謙讓語か丁寧語か、指摘してください。その上で、その語の終止形を「          」に入れて示し、ここでの活用形を指摘してください。さらに、語の意味を現代語で説明してください。

解答例（一行目「おはし」＝尊敬語「おはす（終止形）」の連用形、意味は「いらつしやる」）

四行目「給ふ」＝

五行目「奉り」＝

五行目「参らせ」＝

五行目「候へ」＝

十四行目「られ」＝

十七行目「れ」＝

次頁一行目「宣ひ」

同七行目「聞えさせ」

問四、傍線部は、忠度自身によってつくられた和歌です。歌の意味を「せば」「ならまし」の品詞、文法、意味に注意して、現代語に訳してください。

注記 問題の本文、約物（句読点、括弧等）は、以下にします活字本に示されたものを基本とし、適宜、改訂および省略をしました。

佐藤謙三校註『平家物語 下巻』角川日本古典文庫、昭和三十四年